



平成30年5月23日

国土交通省中部地方整備局

富士砂防事務所

富士山こどもの国「こども寺子屋」

児童向け防災教室において、座学・体験プログラムを開催します。

富士山こどもの国では、児童向けの防災教室「こども防災寺子屋」を実施しており、当事務所は、座学・体験プログラムに協力しております。

噴火や地震による災害の履歴やその対策を学習したり、知的好奇心を満たす災害防止施設を見学する機会を提供いたします。

開催日：平成30年5月27日（日）

9:00 富士山こどもの国に集合

10:00 富士砂防事務所 事務所内で講座

富士山の成り立ちと噴火や土砂災害の歴史、土砂災害に対する対策を学びます。

10:40 大沢扇状地砂防施設見学

富士山の景観を保持し災害から守るための取り組みを学びます。

・床固工の様子

（河川の縦横断形状を維持するために設けられた工作物）

・岩樋観測所の様子

（大沢川の水位観測を行っている通称「岩樋」の最下端部）

・樹林帯補強工の様子

（土石流のエネルギーを抑制するための樹林帯）

12:00 富士山こどもの国へ移動

13:00 解散



1. 配布先：静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ
2. 取材の際は、報道機関名がわかる取材者証（腕章）などの着用をお願いいたします。
・災害など、不測の事態が発生した場合は、中止することがありますので、ご容赦願います。

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

副 所 長 東浦 克昌

総 務 課 長 池谷 俊政

TEL 0544-27-5221（代表）



報道関係者 各位

2018年5月13日

【参加者募集】「こども防災寺子屋 - 富士山は生きている」

2018年5月27日(日)、富士山こどもの国で、児童向け防災プログラム「こども防災寺子屋」を実施致します。参加は事前応募制となっております。

もしもの備えは大丈夫？

富士山こどもの国では5月27日(日)に「こども防災寺子屋 - 富士山は生きている」を実施致します。

本企画は、富士山こどもの国が定期的に行っている防災学習プログラムで、2018年度の1回目となる今回のテーマは「富士山は生きている」です。富士山の歴史と今、3Dマップを使った噴火の想定被害を学ぶほか、大沢扇状地でのフィールドワークも行います。

時間は9時～13時まで。参加料お一人様50円(レクリエーション保険代)、事前応募制となっております。また、参加特典としまして、当日の富士山こどもの国入園料が「大人1名こども1名」無料になります。

報道各位におかれましては、本募集告知を、番組、紙面、インターネット等で取り上げて頂き、広くご紹介頂けますようお願い申し上げます。

また、本企画は富士山こどもの国のイベント・プログラムの中でもとりわけ学習要素の強いものとなっておりますので、当日のお子様がお学ば姿もぜひ取材頂ければ幸いです。

●こども防災寺子屋 - 富士山は生きている

[詳細情報]

開催日：2018年5月27日(日)

開催時間：9:00～13:00

場所：富士山こどもの国および大沢扇状地砂防施設

行程：9:00 富士山こどもの国集合

9:20 富士砂防事務所へ出発

10:00 富士砂防事務所座学

10:40 大沢扇状地で現地視察

12:00 大沢扇状地出発

13:00 富士山こどもの国着 解散

参加費：お1人様50円(レクリエーション保険加入代)

(※参加特典：当日の富士山こどもの国入園料「大人1名・こども1名」無料)

定員：40名まで(定員に達し次第締切)

応募方法：電話(0545-22-5555)、またはメール(info@kodomo.or.jp)にて

備考：・必ずご家族でご参加ください

・ご昼食は終了後に各自でお取りいただく形となります

主催：富士山こどもの国

協力：国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所

【本件に関するお問い合わせ】

富士山こどもの国 企画販促課 本原・小林・高橋

電話 0545-22-5553 メール info@kodomo.or.jp